セルラ「取扱い説明書」

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。
本書はいつでも見られるように保管して下さい。

本書では、製品「セルラ」の機能をご理解頂き、正しくお使い頂くための使用方法と、各部の調節方法を解説しています。

必ず使用前に本書をお読み頂き、間違った使用方法をしないようにして、「セルラ」を快適にご使用下さい。

セルラ「取扱い説明書」目次

安全上の警告・注意事項
（安全にお使いいただくために・・） P1-3
各部の名前 P4
１．取扱い方法
　１－１．折りたたみ方法 P4
　１－２．調節箇所および調節範囲 P5
　１－３．リクライニング（ティルト方式）角度の調節 P6
　１－４．座面の奥行きの調節 P8
　１－５．背もたれの高さの調節 P9
　１－６．張り（座シート）の調節 P10
　１－７．張り（背シート）の調節 P11
　１－８．腰ベルトの使い方 P12
　１－９．胸ベルトの使い方 P13
２．お手入れの方法
　２－１．シートの洗濯の仕方 P14
　２－２．定期的な点検 P15
３.参考：アジャスターへのベルトの通し方 P16

安全上の警告・注意事項

以下の警告・注意事項を必ず守って使用してください。この内容を理解せず間違った使い方をした場合、使用者が重大な怪我をしたり、生命に危険が及ぶことがあります。

「いす以外の目的で使用しない」

：踏み台にする等、座位をとること以外の目的で使用すると、事故や転倒の恐れがあります。また、荷物を置く台として使用すると破損の原因となり、事故や故障につながる場合があります。

「2時間以上連続して座らない」

：２時間以上座り、同じ姿勢を続けていると関節の拘縮や、圧力の集中による褥創（床ずれ）を引き起こす恐れがあります。一旦椅子から降りて横になるなどして除圧し、異なる姿勢をとるようにして下さい。

「不十分な調整状態で使用しない」

：セルラの調節機能（→P5-P13）を理解し、本人の体格、状態に合せて調節して使用して下さい。身体に合っていない状態で使用した場合、フレームの固い部分が接触するとケガや褥創を起こす恐れがあります。表示している使用者の身体寸法（→P5：調節箇所および調節範囲）を超えて使用しないで下さい。

「平らな床面以外で使用しない」

：傾斜した場所や凹凸のある所で使用すると椅子が不安定になり、転倒する危険があります。特に入浴時に洗い場で使用する場合にはすべりやすいので、安全を確認してから使用して下さい。

「浴槽の中で使用しない」

：セルラを入浴介助に使用するときは必ず洗い場に置き、シャワー浴および洗体に使用して下さい。この椅子を浴槽内で使用すると滑りやすく、浮力の影響を受けて転倒する恐れがあり危険です。また、お風呂の蓋の上に置いて使用しないで下さい。

「改造・分解しない」

：改造は本製品の安全性を低下させ、破損や事故を引き起こす場合があります。また、調整や洗濯・清掃を行う場合に分解する場合は本書の説明に従って行い、本書に記載された部分以外は分解しないで下さい。

「高温になるところに置かない」

：直射日光の下に置いたままにしないで下さい。金属部分の温度上昇により、やけどをするおそれがあります。

「直射日光の下で使用しない」

：屋外で使用する時は、日陰で使用して下さい。金属部分の温度上昇によりやけどをするおそれがあります。また、使用者が長時間直射日光にあたり、熱射病等の疾病を引き起こす危険があります。

「使用者をのせたままで持ち上げない、持ち運ばない

：使用者が座ったままの状態で移動しようとすると、フレームの折りたたみ構造が作動し、身体の一部がはさまれたり、転落するおそれがあります。

「調整部分のネジがゆるんだ状態や外した状態で使用しない」

：調整後のネジの締め忘れやクリップピンの止め忘れに注意してください。

「折りたたみ方法に従って折りたたむ」

：本書に説明している方法（→P4：折りたたみ方法）以外で折りたたまないで下さい。手や指を挟み怪我をするおそれがあります。また、折りたたむ時にまわりに人がいるときは、そばに居る人の身体の一部を挟まないように注意して下さい。特に小さいお子さんには十分に注意して下さい。

「火気や熱源のそばで使用しない」

：シートは可燃性です。火気や熱源のそばでは発火するおそれがあります。また乾燥機、ドライヤー、直火での乾燥は行わないで下さい。

「本体に衝撃を加えない」

：衝撃を加えたり、落下させると性能が低下し、破損や事故につながるおそれがあります。

「定期的な点検・整備を行う」

：説明に従い、定期的に点検を行って下さい。破損に気づかなかったり、整備不良のまま使用すると事故やけがを引き起こす恐れがあります。

「警告」: このような場合は、ただちに使用を中止して下さい。

① 使用している方の皮膚に発疹当の異常が見られたとき。

② この椅子の使用によって通常の身体状況とは異なる異常が観察された場合。

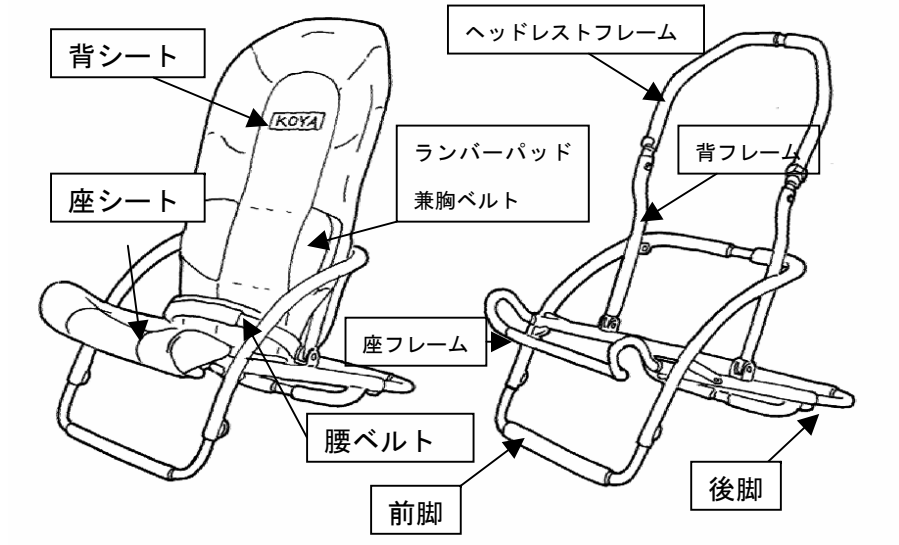
③ フレームに異常なガタつきが観察された場合。

④ フレームが歪んだり、パイプにヒビや破損が発見された場合。また、シート部分に破れなどの破損が発見されたとき。

①、②の症状があった場合は、ただちに医師の診察を受けて下さい。

③、④の状況があった場合は、販売店または総販売元にご連絡下さい。

（各部の名前）



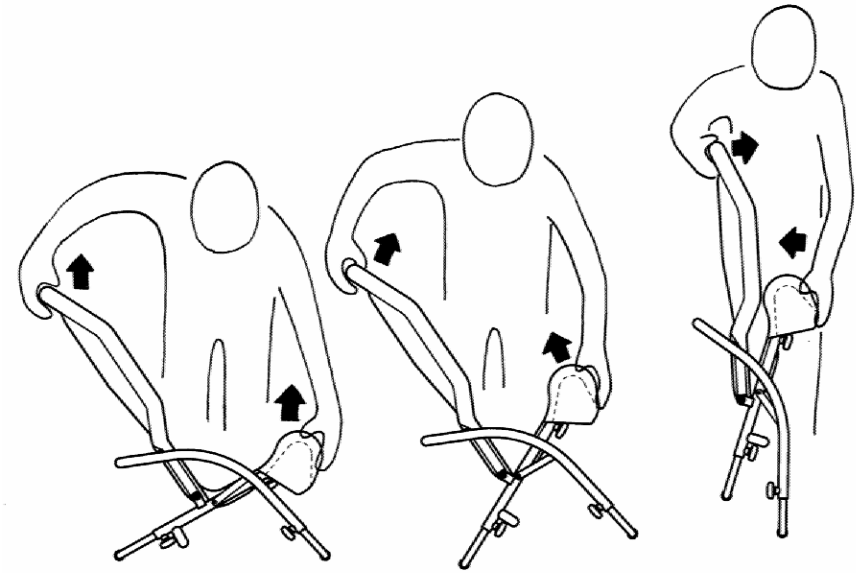
1.「取扱い方法」

1-1. 折りたたみ方法

セルラは簡単に折りたたむことができます。折りたたむ際には以下の方法に従って行ってください。誤った方法での折りたたみは事故や怪我を引き起こす場合があります。また、折りたたむ際にはまわりの人に十分注意して行ってください。そばに居る人の手や身体の一部を挟んだり、フレームにぶつけたりして怪我をさせる恐れがあります。

（**折りたたみ方**）片手でヘッドレスト部分を支え、もう片方の手で座面の前端部下側のフレーム部分を片手で持ち上げると自然に折りたたまれます。

（**開き方**）折りたたみ方法と逆の手順でフレームを左右に開きながら床に置いて下さい。

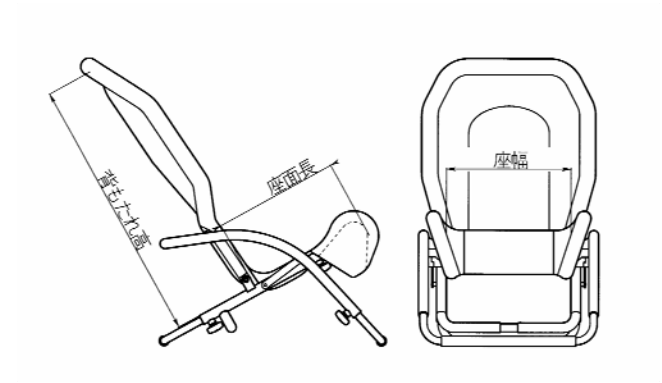


(警告)開ききらない状態のまま使用すると身体の一部を挟んだり、転倒して怪我の恐れがあります。座フレームと受け部が接触し、フレームが完全に開いたことを確認してから使用して下さい。(右図)

1−2. 調整箇所および調節範囲

セルラには以下の部分に調節機能があり、身体の状態や成長に合せて調整することが可能です。調節方法をよく読み、適切な方法で調節を行ってください。

① フレームのリクライニング（ティルト方式）角度の調節。
② 座面長の調節
③ 背もたれ高さの調節
④ 張り（座シート）の調節

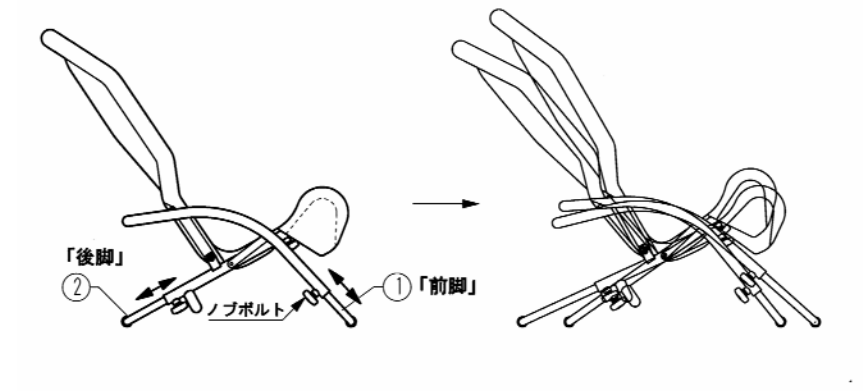


各サイズの調節範囲を表に示します。

サイズ	座幅	①座面長	②背もたれ高	ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞ角度
S	26ｃｍ	22～29	52～56	約 30～40 度
M	30ｃｍ	25～35	58～66	
L	34ｃｍ	28～38	68～76	

1－3. リクライニング（ティルト方式）角度の調節

セルラのリクライニングはティルト方式です。ティルト方式とは、座面と背もたれとの角度（両面角）が一定の状態を保ちながらフレーム全体の角度を変化させる方式です。



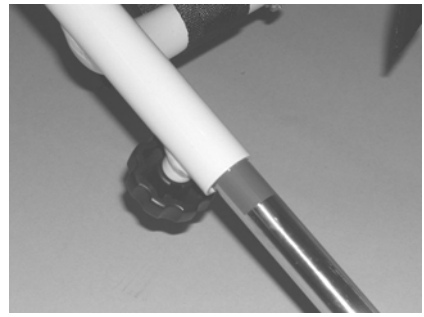
（調節方法）

フレームの角度調節は前脚（①）と後脚（②）の長さを調節することで行います。調節の際はまず前脚（①）の長さを下腿長に合せて決め、後脚の長さを調節します。それでも十分に傾けられない場合には、前脚（②）の長さを調節します。**（注意点）**このとき、設定した角度によっては足部が床に着かない状態ができる場合があります。

（手順１）左右のノブボルトを緩めます。

（手順 2）フレームの左右を両手で持って交互に少しずつ引き出して下さい。奥行きが決まったら２本のノブボルトをしっかりと締めなおして下さい。

（注意点）この時、先端フレームの出し入れは左右をすこしづつ交互に動かしていくとスムーズに調節ができます。片側だけを動かしすぎるとフレームがゆがみ動かしにくくなります。

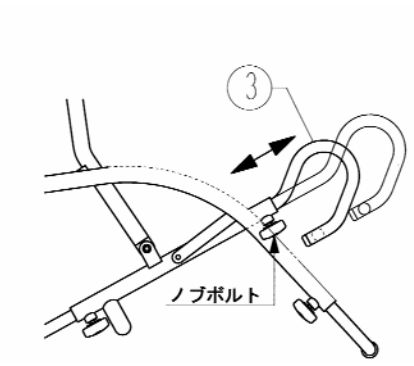


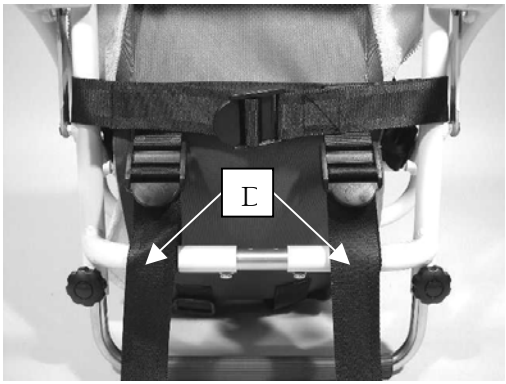
（警告）脚を引き出していくとき、引き出しすぎると外側のパイプから脚が抜けて脱落します。入っている部分が残り少なくなると赤いラインが見えます。赤いラインが見えた状態では使用しないで下さい。（右図）

（手順３）長さが決まったら２本のノブボルトをしっかりと締め、動かないことを確認して下さい。

（警告）ノブボルトが緩んだ状態で使用すると、使用中に急に角度が変わったり、脚が脱落して事故につながる恐れがあります。

1－4. 座面の奥行きの調節





座面の奥行きの調節は、「座フレーム③」を前後に引き出すことで行います。

（手順１）座シートの後方の２本のベルトＤを緩めて下さい。

（手順２）２本のノブボルトを緩め、フレームの左右を持って交互に少しずつ引き出して下さい。

（注意点）この時、先端フレームの出し入れは左右をすこしづつ交互に動かしていくとスムーズに調節ができます。片側だけを動かしすぎるとフレームがゆがみ動かしにくくなります。

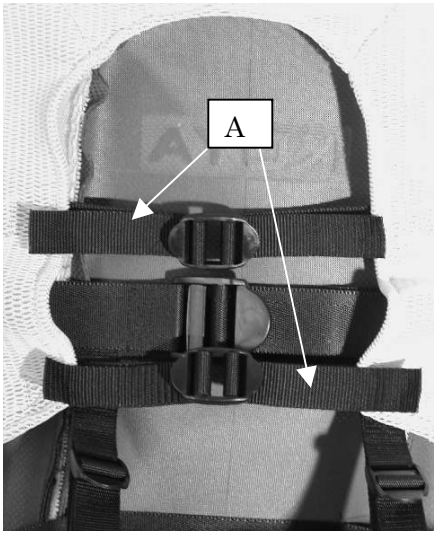
（警告）脚を引き出していくとき、引き出しすぎると外側のパイプから脚が抜けて脱落します。入っている部分が残り少なくなると赤いラインが見えます。赤いラインが見えた状態では使用しないで下さい。

（手順３）長さが決まったら２本のノブボルト（⑥）をしっかりと締め、動かないことを確認して下さい。

（手順４）ベルトＤを適当な長さに調節して下さい。

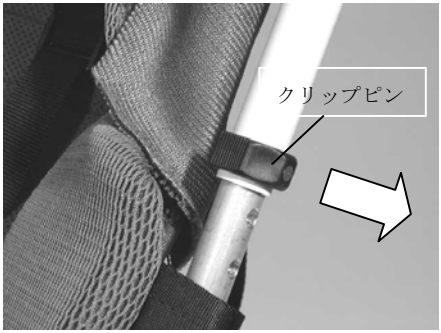
1－5. 背もたれの高さの調節

（**注意点**）背もたれの高さは座高に合せて適宜調節してください。あまり余裕のある高さにすると後方のランバーパッド位置が合わなくなり身体を前に押し出しやすくすることがあります。適切な高さのめやすはヘッドレストパイプと頭頂部との間に５ｃｍ以内のすきまが空いた状態です。



（**手順１**）カバーのベルトＡを外し、ベルトＢを充分に弛めます。

（**手順２**）背シートをめくり、調節部分を露出します。



（**手順３**）パイプの穴に差し込んであるクリップピンを図に示すように外側に向かってひっぱり、取り外します。

（**手順４**）ヘッドレストフレームの左右を持ち、交互に少しづつ出し入れして長さを調節します。

（注意点）この時、先端フレームの出し入れは左右をすこしづつ交互に動かしていくとスムーズに調節ができます。片側だけを動かしすぎるとフレ

⑤　張り（背シート）の調節

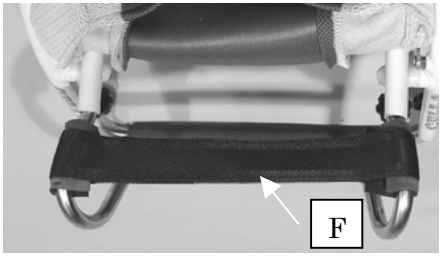
ームがゆがみ、動かしにくくなります。

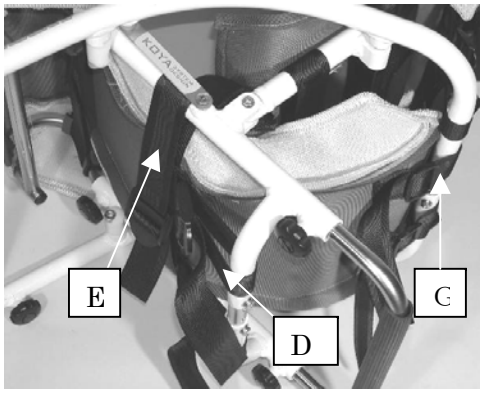
（警告）引き出しすぎると外側のパイプから脱落します。入っている部分が残り少なくなると赤いラインが見えます。赤いラインが見えた状態で使用しないで下さい。

（**手順５**）位置が決まったらクリップピンを差込み、長さを固定します。

（**手順６**）ベルト B を締めなおし、カバーベルト A を止めなおします。

1－6. 張り（座シート）の調節



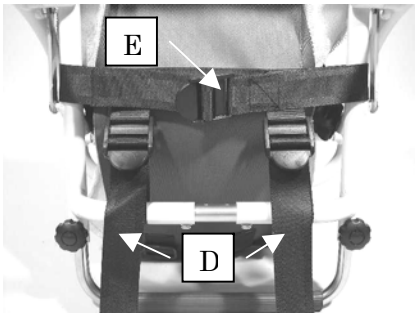


図に示すベルト D、E、F の３種類のベルトの張りを調節することによって座面の形状を変化させることができます。座シートの張り調節は、座った時の股関節の角度を変更したいときや、滑り落ちやすいときに座面の形状を変えたい場合に行います。

調節は以下の説明に従って、適切な方法で行って下さい。

（警告）座面の張りの調節は必ず降りてから行って下さい。座ったままで調節を行おうとすると身体の重みがかかり、ベルトを緩めたときに急に姿勢がくずれて事故につながるおそれがあります。

①ベルト F の張り調節：ベルト F の調節をするために、座シート先端部をめくります。面ファスナーを調節してベルトの長さを調節して下さい。ベルトの張りを緩めると太ももの下側の支える位置が下がります。通常は、しっかりと張ってください。

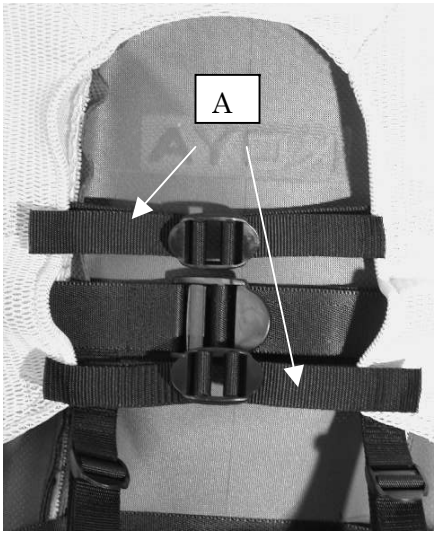


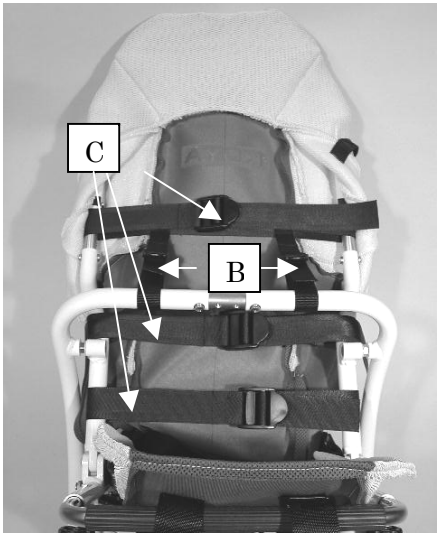
②ベルトＥの張り調節：ベルトＥの張り調節は座面下側のアジャスターで行います。このベルトを緩めるとお尻が下側に下がった状態になります。

③ベルトＤの張り調節：後方に引っ張った２本のベルトＤの調節はアジャスター部分での調整で行います。この２本のベルトでシート全体の張りの強さと、お尻の落ち込む状態を調節できます。（**注意**）このベルトを強く引き過ぎないで下さい。あまり強く引っ張るとシートに負担がかかり、破損の原因になります。

④ベルトＧの長さ調節：２本のベルトＧは座面の奥行きを変化させた際に、それに伴って調節します。

1－7. 張り(背シート)の調節





ベルトA、B、Cの３種類のベルトの張りを調節することによって身体のはまり込みの深さと背中のラインの前後方向へのアライメントを調節することができます。それぞれのベルトの調節は相互に影響を与えますので、３種類のベルトを少しづつ交互に調節していくと姿勢と安定性を変化させることができます。

①**ベルトCの張り調節**：３本のベルトCの長さは後ろ側のアジャスターで行います。３本のベルトの長さを調節することで背中の前後方向へのアライメントをコントロールすることができます

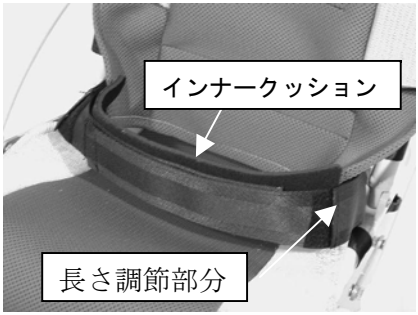
②**ベルトBの張り調節**:後方フレームにひっぱっている２本のベルトBで、フレームに対する肩部分のはまり込みの深さを変更します。

（**注意点**）このベルトを強く引き過ぎないで下さい。あまり強く引っ張るとシートに負担がかかり、破損の原因になります。

③**カバーベルト A の調節**：カバーの張りを調節します。強く張るとカバー全体が張られるので身体を前に押し出します。

（参考）ベルトAの長さ調節は、ベルトB、Cと比べて姿勢への影響は少ないのでおおまかに調節してください。

1−8. 腰ベルトの使い方



（警告）腰ベルトは必ず使用してください。腰ベルトを使用しない場合、セルラから転落して怪我をするおそれがあります。また、使用する際には以下に示す方法に従って正しくご使用下さい。

（腰ベルトの使い方）

ベルトのインナークッションが身体側にくるようにして、身体とのすきまがないようにしっかりと固定して下さい。この時、面ファスナーがしっかりとついているか確認して下さい。

（注意）内側に取り付けたインナークッションは位置を調節できます。特に入浴で使用する場合等、裸でこの椅子に座る場合には、ベルトの固いところが皮膚に直接あたらないように位置を調節してください。（インナークッションが小さすぎてベルトが直接皮膚にあたる場合は代理店または総販売元にご連絡下さい。大きいサイズのものをご用意させて頂きます。）

（腰ベルトの長さ調節）

ベルトの取り付け部分の折り返した面ファスナーを剥がし、ベルトの長さを左右で調節してください。

（警告）面ファスナーによる固定は、重なり部分が少ないと力が加わったときに外れ、危険です。ベルトが短く、重なり部分が少ない場合にはそのまま使用せず、ベルトを長いものに交換してご使用下さい（長いベルトへの交換は代理店、販売店にお申しつけ下さい）。

1－8. 胸ベルトの使い方

セルラには胸ベルトが標準装備されています。

背シートのランバーサポートとして使用しているパーツは後ろ側で取り付けた面ファスナーを外して前方に持ってくると、体幹パッド付の胸ベルトとしてご使用頂けます。

（警告）ベルトが短すぎたり長すぎたりして面ファスナーの重なり部分が少ないと、力が加わったときに外れ、危険です。ベルトが短く、重なり部分が少ない場合にはそのまま使用せず、ベルトを長いものに交換してご使用下さい（長いベルトへの交換は代理店、販売店にお申しつけ下さい）。

2. お手入れの方法

2－1. シートの洗濯の仕方

洗濯方法にはシートを外さずに洗って頂く①簡易的な洗濯方法、とシートを取り外しての②手洗い、または洗濯機で選択する方法、の 2 通りの方法があります。

（注意）ドライクリーニングはできません。

① 簡易的な方法

（手順１）シートを取り付けたままで、軟らかいブラシなどを使用して水洗いしてください。洗剤も使用できます。

（注意）硬いブラシを使用すると生地に傷がつき、性能を低下させたり、耐用期間を短くするおそれがあります。

（手順２）洗ったあとは、乾いたタオルで水分をよく拭き取って天日乾燥させてください。

（注意）洗剤の洗い残しはカビなどの原因になります。汚れや洗剤の洗い残しがないように充分に水洗いして下さい。脱水後は、広げて乾燥させて下さい。

（警告）絶対に乾燥機、ドライヤー、直火で乾燥しないで下さい。熱で発火したり、樹脂部品が破損することがありますので危険です。

（注意）長時間の天日乾燥を繰り返すとシートが紫外線に焼けて色落ちすることがあります。水分が乾いたらできるだけ早く日陰に取り込んで下さい。

② **洗濯機での洗濯方法**

汚れがひどい場合には背シート、座シートを取り外し、洗濯ネットに入れて洗濯機で洗ってください。

（注意）洗濯ネットに入れないで洗濯をするとシートや樹脂部品が破損し、性能を低下させる場合があります。

脱水後は天日乾燥させて下さい。セルラのシートは短時間で乾きますので乾燥後はお早めに日陰に取り込んで下さい。（**注意**）長時間の天日乾燥を繰り返すとシートが紫外線に焼けて色落ちすることがあります。水分が乾いたらできるだけ早く日陰に取り込んで下さい。

（警告）絶対に乾燥機、ドライヤー、直火で乾燥しないで下さい。熱で発火したり、樹脂部品が破損することがありますので危険です。

（警告）シートを取り外して清掃・洗濯を行ったときは、取扱い方法に従って必ずもとの状態にして使用してください。特にベルトがフレームに架かっていないことがないように、充分に注意して下さい。またベルトの長さの調節を行うアジャスターにベルトを通す時は、誤った方法で通すと固定力が弱くなり、危険です。充分に注意して下さい。

2－2. 定期的な点検

安全にご使用頂くために、以下の内容について定期的に点検を行って下さい。

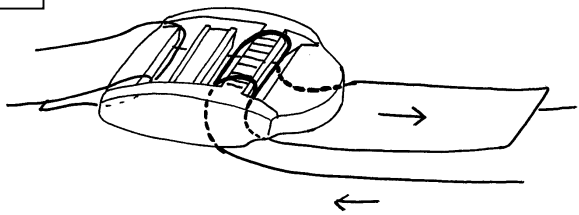
① ねじのゆるみの点検

② シートの破損の点検

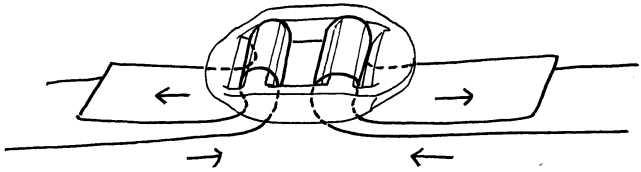
故障に気づいた場合は、使用を中止して販売店または製造元にご連絡下さい。

3. 参考：アジャスターへのベルトの通し方

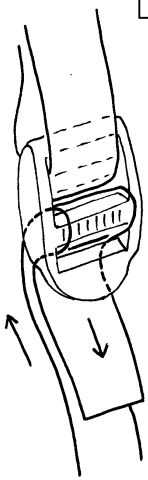
ベルトC、D、E



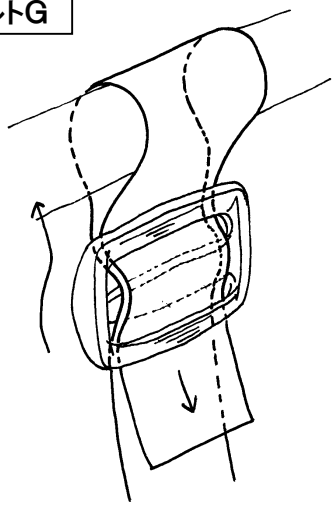
ベルトA



ベルトB



ベルトG



「セルラ」保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。表記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、販売店にご連絡下さい。

保証規定

1.取扱い説明書にしたがって正常な使用をしていたにも関わらず故障、破損した場合は、お買い上げ日から 1 年間、無料保証致します。

2.保障期間内でも、次の場合には有料修理になります。

- **使用上の誤りにより故障が生じた場合。**
- **火災、地震、水害、その他の災害などによる故障および損傷。**
- **本書の指示のない場合。**

お客様のお名前	
ご住所	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
販売店（担当者）	
備考：	

※ お手数ですが販売店でご記入下さい。

※ お客様ご相談窓口のご案内

本製品についてご不満、ご要望、ご感想などがございましたら、下記連絡先までご連絡下さい。

テクノグリーン株式会社　お客さま相談窓口

〒5300-0015　大阪市北区中崎西１丁目４番２２号　梅田東ビル

TEL：(06)6371－0104

FAX：(06)6371-6400

E-mail：administration@technogreen. co. jp

無断複写禁。